

第6回医療安全推進体制に係る外部調査委員会議事要旨

日 時：令和5年12月20日（水）10時00分～11時30分

場 所：神奈川県立病院機構本部 会議室2 リモート併用

出席者：長尾 能雅委員長（名古屋大学病院 副病院長 兼 患者安全推進部教授）
隈本 邦彦副委員長（江戸川大学メディアコミュニケーション学部 特任教授）
加藤 節子委員（公益社団法人神奈川県看護協会 危機管理課長）
高井 佳江子委員（高井佳江子法律事務所 弁護士）
馬上 祐子委員（小児脳腫瘍の会 代表）

議 事

1. アンケート調査の実施について

こども医療センターで実施するアンケート調査について、対象者や実施方法、実施期間、設問等についてディスカッションを行った。

（委員の主な発言）

- アンケート調査は、より客観的な病院サービスに対する評価として、アメリカとイギリスで活用されているPX*調査を用いることで、海外の小児病院と比較することができ、提言に繋がる課題が抽出できるので、設問の一部を活用してはどうか。
- 患者目線の医療安全の提供など、PX調査で不足する設問は、追加してはどうか。
- アンケート調査は、回答にばらつきが生じないように、入院用は概ね5年以内に入院経験がある方を対象とし、外来用は過去6か月間で外来を受診した方とし、退職者用は昨年度にこども医療センターを退職した方を対象にしてはどうか。

*PX (Patient eXperience)とは、患者中心の医療を実現するためにイギリスで生まれた考え方で、「患者が医療サービスを受ける中で経験するすべての事象」と定義されています。

2. 今後の取組について

- 今後、調査結果報告書の策定に向けた課題抽出、内容の構成等について検討する必要がある。

各委員の意見を踏まえて、アンケートは、二次元コードを活用したWebアンケートとし、PX調査の設問を一部活用すること、不足する設問は追加し、個人が特定されないよう配慮することとした。

1月中旬にアンケートが実施できるよう準備を進めることになった。

調査結果報告書の策定等に向けて、1月以降の開催日程を確認した。

3. その他

- ・次回委員会：令和6年1月10日（水）17時から19時